

田村敏和市長

昨年6月会議での旧J R松任工場跡地利活用の答弁を受けてについてお答えします。
初めに、J R西日本への要望状況についてであります。

J R西日本とは、昨年8月に金沢支社を訪れ、土地の活用策の検討を進めるよう要請しましたが、土壌調査に2年ほどかかることから、調査を行いつつ、用地の市場性評価や事業手法についての検討を始め、土壌調査結果をもって検討を深めていきたいということでした。

本年3月には、土壌調査の進捗状況について報告があったほか、その後も、メール、そしてウェブ会議、支社への訪問などにより、連絡調整をしてきたところであります。

さらに、先月のウェブ会議において、J R西日本での検討状況についてお伺いしたところ、J R西日本としましても、駅至近用地の長期遊休化を避けるべく、なるべく早期に処理方針を決定したいということでありました。

現在は、慎重に跡地の調査を行っているところであり、金沢支社からは、その調査結果を踏まえて今後のスケジュールを定めていく方針であるという見解をいただいているところであります。

次に、関係国会議員との相談状況についてであります。

J R西日本と協議を進めるための窓口について、地元選出国会議員に御相談したところ、橋渡しをしていただき、事務レベルでの打合せを開始できたところであります。また、跡地の活用について外部の意見を取り入れるため、検討委員会を設けて進めていくことを御報告しております。

次に、J R西日本として、跡地利用をどのように取り扱うのかにつきましては、対象用地が広大であることから、市場性評価や事業手法などを検討し、市を含めた関係者の意向も確認しながら、土壌調査の結果も踏まえて処理方針を決定していくとお聞きしております。

最後に、跡地活用策の考えにつきましては、どういった土地利用や施設整備が望ましいのか、市全体の活性化につながるよう、そういう跡地活用となるよう、思いを巡らせているところであります。

以上でございます。